

新たな街の情報をわかりやすく表現

万福寺地区は土地区画整理事業によって「新百合山手」という名の新しい街へと変貌を遂げました。

この「新百合山手」の街がどうなっているのか、居住者・来街者(車)にわかりやすく伝えるため、案内サインを設置します。

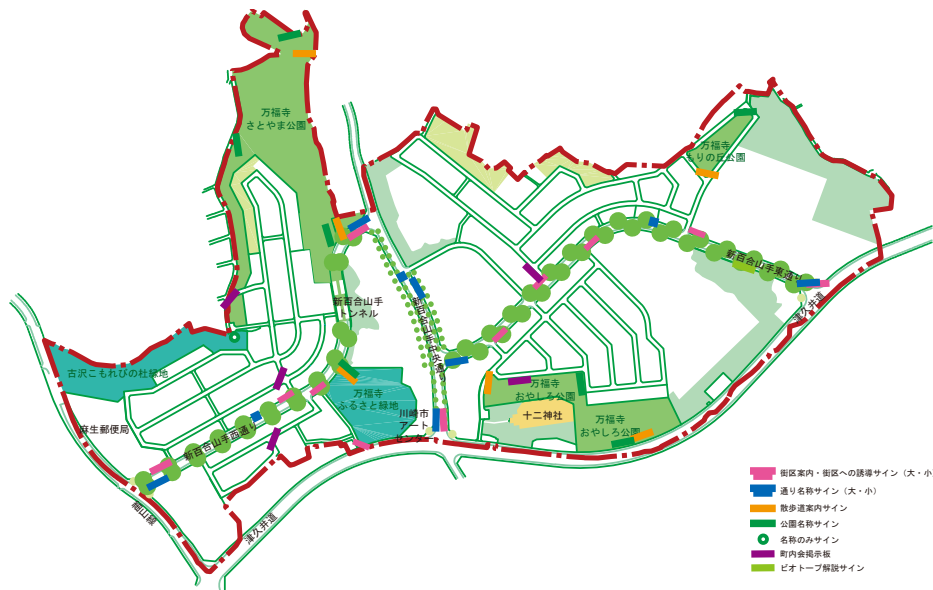
まちづくりと一体となった、わかりやすい街の形成に寄与するサイン

「新百合山手」においては骨格道路を軸として地区全体が計画され、複数カ所に街路・公園・緑地が整備されています。また、麻生2号線を中心として東西に丘状に広がるなど、地区の構造がはっきりとしています。これら「街の構成要素」と一体となった、街の構造が自然と見えてくるような案内を行います。

万福寺・新百合山手らしさの創出

目的地への案内だけでなく、まちづくりのコンセプトやそれに伴って創出される「街の構成要素」も含め、タウンアイデンティティの形成に寄与する案内板とします。

サイン設置場所



設置サイン例

※設置サインのデザイン・場所については今後変更の可能性があります。

